

新霊・先祖供養比叡山団参ご案内  
～『日本の伝統を学ぶ・京都三昧』の旅～

檀信徒の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。恒例の先祖供養団参を今年も下記日程により実施いたします。今回の団参は、京都観光を中心にしました。2泊目も京都市内、八坂神社近くの料理旅館です。祇園を自由行動にさせていただきますので、京都の町を散策しながら、ゆっくりお買い物を楽しんでいただける行程となっています。多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

1. 月 日 平成26年6月11日(水)～13日(金)
2. 旅 費 60,000円
3. 旅 程 ※詳細についてはお問い合わせ下さい。

6/11：東円寺(出発6時)――御殿場IC=====東名・清水PA休憩=====栗東IC――  
――昼食・寿司・時空割烹沙羅――琵琶湖大橋――延暦寺団体参拝・・延暦寺会館

6/12：比叡山(10時)――観光・京都嵐山散策――昼食未定(嵐山にて)=====  
――宿泊・純和風料理旅館きの糸(16時)――祇園散策(自由行動)

6/13：純和風料理旅館きの糸(8時30分)=====観光平等院鳳凰堂=====関ヶ原IC  
――昼食割烹末廣=====東名・浜松SA休憩=====清水PA休憩=====  
=====御殿場IC=====東円寺解散(18時45分予定)

※旅程は多少変更する場合がありますのでご了承ください。

◎お申し込み受付は4月30日までです。

参加希望の方は予納金1万円を添え、お早めにお寺までお申し込み下さい。

仏参金納入口座のお知らせ

郵便口座

記号 10800 番号 6654231

口座名 トウエンジ 又は 東園寺

※キャッシュカードでの振り込みですと、手数料が掛かりません。

山梨中央銀行

忍野支店 口座 普通 121086 東円寺

◎ご家族の名前で振り込んだ場合、家の確認が出来ないことがありますので、必ず戸主がわかるようにして下さい。

※年間行事予定表は別紙になりました。ご覧下さい。

彼岸を迎え、ようやく春めいてきました。檀信徒の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より皆様の菩提寺である東円寺に対してのご助力に衷心より感謝申し上げます。寺の更なる発展を来とし、微力ながらも尽力いたしますので、温かなご支援をお願い申し上げます。さて、近年は世界的に異常気象による被害が発生しております。2月には観測史上、未曾有の大雪に見舞われましたが、ここ忍草地区においては大きな被害もなく、喜ばしき限りです。一時、山梨県は陸の孤島と化しました。交通網だけでなく、物流などでも多大な支障を来し、近代文明に頼り切って来た我々に、多くの課題を残してくれました。忍野村においても、村から国道に抜ける、忍野入口までの道路は、開通までに4日も費やしました。さらに、路線バスや観光バスが通行できるまでには、それから数日かかりました。富士山世界文化遺産の構成資産である、忍野八海の観光には、大きな影響が出た事でしょう。この度の大雪は、我々に何かを伝えたかったのかもしれない

合掌

# 初不動尊大祭 1月28日

## 交通安全・厄除け祈願祭

左：富士見不動尊 中央：鈴原不動尊 右：海沢不動尊



お護摩の様子



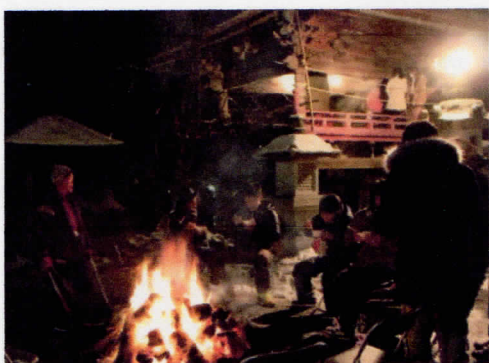
## 12月29日 お餅つき

毎年恒例の『お餅つき』が行われました。

お寺では毎年29日についています。一般には、『二重苦』に通じ縁起が悪いともいわれていますが、福「ふ（2）く（9）」がつくから良いとも聞きます。苦においては「苦」をつき、福においては「福」をつく。檀家の皆様の苦を祓い、新しい年の福を願って祈りをこめてついています。ついたお餅は、仏様や神棚に鏡餅として御供えし、その他はお正月にお雑煮でいただいたりします。



## ゆく年くる年 大晦日



鐘突き後、火にあたる方々

12月31日、氷点下の中、たくさんの方が『除夜の鐘』を撞きに來られました。鐘を撞き、古い年の煩惱（ぼんのう）を祓い、新たな気持ちで新年を迎える事ができます。毎年、お寺では、忍野の厳しい寒さに負けず、風邪をひかないように温かい「けんちん汁」と「甘酒」を振る舞っています。

お願い  
泥酔状態での  
鐘突きはとても  
危険なのでやめ  
ましょう。



今年も恒例の初不動尊祈願祭が、1月28日、盛大に行われました。交通安全祈願の他、家内安全・入試合格・商売繁盛など併せて祈願の護摩を焚いて祈りました。富士吉田警察署の方々をはじめ、交通安全協会の役員さんなど多くの檀信徒の方々がご参拝下さいました。お不動さんのお顔は、見るからに怒っておられるように見えますが、その心は人々を救済しようとする厳しくも優しい慈愛にみちています。念ずる人の願いによってどんな利益でも受ける事ができると言われています。

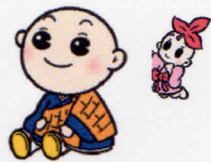
## 東円寺の不動明王



東円寺のお不動様は、江戸時代までは、富士山の一合目、鈴原大日堂に安置されていました。明治の廃仏毀釈の時に富士山より下ろされました。不思議な夢によって導かれ、東円寺に遷座されることになりました。古来より、富士修験者や富士講の人々に信奉されてきた靈験あらたかな『富士山のお不動さん』です。「海沢不動尊」、「富士見不動尊」もそれぞれ、不思議な縁により、東円寺に遷座されました。計3体のお不動様がお守りくださっています。

ぼだいじゅかやかや  
「菩提樹伽耶伽耶」のお知らせ

神奈川県天台仏教青年会に、東円寺法嗣が参加させていただいています。「菩提樹・伽耶伽耶」という小冊子に、法話を載せていただきましたので、紹介します。



## 合掌

仏様を供養するのにいろいろな形があります。お灯明をあげる。お線香をあげる。そして、お塔婆やお経をあげる。このようないろいろな形がありますが、いつでも、どこでも、何もなくても出来るのが「合掌」です。

仏教では、まず手を合わせる事から始まります。右手と左手を合わせるから「合掌」といいます。神社にお参りしても「かしわ手」といって合掌と形は少し違いますが手を合わせます。また仏教や神道だけではなく、キリスト教や様々な宗教でも手を合わせるといふ事からスタートします。では、何故手を合わせるのでしょうか。右手と左手というのは同じ手でありながらそれぞれ役割があり、常に違った働きをしています。右手が箸を持てば左手はお茶碗を持ちます。右手がペンを持てば左手は紙を押さえます。また右手が私とすれば左手は相手となります。仏教では右手が私なら左手が仏様、神道では右手が私なら左手が神様となります。仏様と自分とが一つになり、神様と自分とが一つになります。ご飯をいただく時にも、まず手を合わせますが、勿論これにも意味があります。食事をいただく時には、食材の命が一つになる。相手と自分とが一つになるというところから始まります。ひいてはこの世に生きるもの全て姿、形は違い、様々な役割があり、違った生き方をしていますが、決して別々のものではなく皆同じです。皆、寸分変わらぬ同じ命を持って生まれて来ています。その同じ命が一つになるのです。草も木も、神様も仏様も、皆自分と一つになるのです。皆さんが普段何気なくされている合掌には、尊く、又有難いことに感謝をするという意味がこめられているのです。ふと、手を合わせた時にこの意味を思い出していただけたらと思います。

☆神奈川県天台仏教青年会は、40年の歴史があります。また、菩提樹・伽耶伽耶に紹介されていますが、週間「テレホン法話」は、30年以上にわたり継続してきた神奈川県天台仏教青年会の中心的な活動です。週替わりで、若いお坊さんの法話を電話でお聞きすることができます。是非、ご活用下さい。  
TEL 045-510-4976 ホームページでもご覧頂けます。

## 観音堂再建基金浄財寄進のお願い

平成21年10月より、聖観音堂建立のため寄付金を募っております。東円寺には文保元年（1317年）「丹後国住人 運慶法印曾孫岩見静存」と言う仏師により造られた、村指定重要文化財の聖観音像があります。忍草浅間神社には、三体の御神像があります。この三神像は、国指定重要文化財に指定されています。聖観音像と、三神像は同じ仏師により造られました。幕末までは、浅間神社の境内の観音堂に安置されていましたが、明治の神仏分離により、聖観音像は東円寺に遷座されました。以来、百四十余年間、聖観音様のお堂がありませんでした。この度、2017年には、聖観音像造像700年にあたりますので、記念事業として観音堂の再建を発願し現在に至っております。

1. 浄財受付期間 平成21年10月より平成28年9月まで
2. 建立予定 平成28年末
3. 建設費用 3000万円
4. 浄財寄進方法 ※写経による浄財（志納金1000円）  
※篤志寄進（10000円以上）



◎皆さんの写経は、観音堂の中に永久保存されます。  
また、篤志寄附者の芳名は観音堂の中に刻銘して永久保存します。

## 寺庭のつづやき

檀信徒の皆様には、平素より東円寺に対しまして、温かなご支援ありがとうございます。2月14日には、記録的な大雪が降りました。現在までに、東円寺檀信徒の皆様にお怪我などがあったという報告はありませんので、安堵しております。雪の降っている間は、雪をかくことに必死で、気が付けば大変な自然災害でした。忍野村として公式な降雪量は出されていませんが、河口湖よりも多い積雪だったのではないかと思います。自然の前に、人は無力であると痛感いたしました。

昨年、12月17日、18日の2日間にわたり開催されました、「天台宗・防災士研修講座」に、東円寺の法嗣が受講し、「防災士」の資格を取得しました。「防災士」とは、特定非営利法人『日本防災士機構』による民間資格で、災害時の防災リーダーとして活動する役目を担います。「防災士」制度は、阪神・淡路大震災を教訓として、民間の防災リーダーを養成する目的で創設されたもので、その推進母体として、NPO法人『日本防災士機構』が平成14年に設立されました。その後、平成23年、東日本大震災が発生し、その災害への対応において、迅速かつ的確な行動の重要性が痛感され、改めて防災士の育成が求められています。天台宗でも、支援活動の上で防災士育成が急務であると認識されています。今回、同講座には、各教区などから青年僧を中心に多くの方が参加されました。こうした防災士資格取得の講座はまだ始まったばかりです。「今回の資格取得者が各教区に帰り、防災活動の核となり、啓発に努め、今後の災害に備え、寺院がどのように支援活動を行っていくか。また、活動拠点になるための第一歩になってほしい」との天台宗としての思いがありました。東円寺におきましても、富士山の噴火や東海地震に備える意味で、法嗣が資格を取得してくれたことを心強く感じます。資格を取得したばかりなので、今後の活動については未定ですが、地域の皆様と協力しながら、防災や災害に備えることができたらと思っております。今後とも、東円寺の更なる発展のため精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。

### ご詠歌に参加しませんか

3月～12月

第2・第4月曜日

午後2時～3時

ご詠歌の楽しみは、練習の後のお茶飲みです。住職を囲んで、雑談会をしています。お友達同士誘い合っただけのご参加をお待ちしております。



### 八海・新名庄川清掃参加者募集

清掃活動を続けて、8年目に入りました。今年も毎月8日に清掃・除草活動を行います。天候などで変更する場合は事前に連絡させていただきます。多くの皆様のご理解とご協力をお願いします。



八海清掃の様子

### 一隅会会員募集

天台宗には宗祖伝教大師の御教えを実践する一つの組織として、天台宗一隅会（一隅を照らす運動）があります。賛同してくださる会員を募集しています。お気軽にお問い合わせください。

### 天台青少年の集い参加者募集

「天台青少年の集い」とは、天台宗の総本山である比叡山延暦寺にて、「一隅を照らす」精神を持った青少年の育成を目的とした2泊3日の合宿です。昨年は東円寺から6名の中学生が参加しました。日常生活とは違う空気の中で過ごす貴重な体験ができます。是非ご参加下さい。※中学生・小学6年生であればどなたでも参加可能です。お申し込み・お問い合わせは東円寺まで



◆子育て地藏尊大祭を別紙にてご案内しております。  
多くの皆様のご参加をお待ちしております。